

「花鳥画～自然礼讃～」展—関連企画

“花鳥画を考える”

～講演会・シンポジウム～

平成20年12月11日(木) 13:00～17:00

場所：華鶴大塚美術館 はなとり展示室

聴講無料 ◎定員 **100名**

◇概要

同時開催のコレクション展「花鳥画～自然礼讃～」と関連し、東洋画の伝統的な画題のひとつで、日本の気候風土に生きて独自の発展を見せた花鳥画について、制作者の立場から現在注目を集める日本画家・森山知己氏に、そして、日々研究調査に励む美術館学芸員の立場から3氏に、専門分野を交えて様々な角度から発表していただきます。絵画表現のボーダーレス化、自然環境の大きな変化によって、現在、花鳥画は新しい局面を迎えています。自然との関係が稀薄になりつつある今、花や鳥などのモチーフに託された思いを探りながら、自然と人間との関わり、自然の大切さや命の尊さについて考え、今後の花鳥表現の可能性と未来を考えてみたいと思います。

◇講師・パネラー紹介

森山知己 日本画家。東京芸術大学美術学部絵画科日本画専攻、同大学院美術研究科絵画専攻修士課程修了。自然に目を向け、風景や花などのモチーフを繊細な線描と柔らかな色彩によって表現。個展・グループ展を中心に作品を精力的に発表。岡山県吉備高原在住。

福井麻純 関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程単位取得後退学。2002年より細見美術館学芸員として勤務。大阪の琳派絵師・中村芳中を中心に江戸後期の絵画を研究中。幅広い知識と鋭い感性が持ち味で躍進中。

永井明生 北海道大学文学部卒業。京都大学研究生などを経て、1996年より広島県立美術館学芸員(2008年4月より主任学芸員)。近現代日本画の分野を担当し、斬新な切り口で数々の展覧会を企画・実施。

廣田生馬 関西学院大学大学院文学研究科修士課程修了。同博士課程に学ぶ。1992年の開館時より神戸市立小磯記念美術館に学芸員として勤務。謹厳実直な人柄は研究も手堅く丁寧、これまで多くの実績を残している。

◇日程

13:00～13:30 受付

13:50～(40分) 基調講演

「現代日本画家が挑む花鳥画」 講師：森山知己氏

14:30～(各20分) 発表

① 細見美術館 学芸員 福井麻純氏
「琳派と花鳥画」

② 広島県立美術館 学芸員 永井明生氏
「花鳥画」の今昔—金島桂華と猪原大華の作品を通して—

③ 神戸市立小磯記念美術館 学芸員 廣田生馬氏
「洋画家・小磯良平が描いた薬用植物画」

15:30～(15分) 休憩

15:45～(60分) 質疑応答

～会場参加者を含めたディスカッション～

パネラー：森山氏、福井氏、永井氏、廣田氏
進行：笠岡市立竹喬美術館 館長 上菌四郎

17:00 終了

ご案内：

聴講には事前のお申込が必要となります。
お名前・ご住所・連絡先(電話・メール)をお知らせください。なお、会場の都合により定員になり次第、申込受付を終了させていただきます。
また、講演会・シンポジウムの聴講は無料となっておりますが、同時開催の「花鳥画～自然礼讃～」展の鑑賞には別途入館料(500円)が必要となります。

お問合せ・申込先

はなとり 華鶴大塚美術館

〒715-0024 岡山県井原市高屋町3-11-5

TEL 0866-67-2225 FAX 0866-67-0200 E-mail hanatori@fib.takaya.co.jp

講演会・シンポジウム 主催 華鶴大塚美術館

後援 全国美術館会議 小規模館研究部会 協力 華鶴大塚美術館友の会

助成 エネルギア 文化・スポーツ財団